



今年の夏は涼しい日続きで作柄が心配されたが、九月中旬の好天に恵まれ、ますますだつたと聞いている。青い空が広がり赤とんぼが飛び交う頃になると必ず思い出す。「十月日照りのババ殺し」昔から言われているようにお天気が続くといひさん

納豆の味

古津 渡辺 清次郎

ななければならなうて疲れて殺されそうだと、ということから出た言葉だと思ふ。それにつけても私の母などは何か仕事をしないと気嫌が悪い、というほど丈夫で、米寿の祝までやつたらつたが八十九歳でこの世を去つた。

当時、私たち子どもも秋になると稲刈や稲かづき、ハサかけなど手伝いを強いられた。猫の手も借りたという時期だけに子どももそういうものだと思つてい

たものだ。父や母の引く荷車に乗ってはか遠い梅ノ木付近の田んぼまでいって作業を手伝つたものだった。遊び盛りの弟などは、もう家に帰ろうや、などということもしばしばあったが、当時のおやつの柿やかすまいなどを母が袋から出して「一生懸命してくれや」と言つて食べさせてくれた。子どもながらも顔に汗を流し、稲束を一つ一つ弟は母に、私は父に渡しつづ、ひたすら中飯を待ったものだ

いものを持つて来たゾ」と母は、昨日新津の市から買つて来た納豆を出した。ワラつとを通して納豆の香りが食欲をそそる。ワッパの蓋にいくつか入れ塩をかきまぜて、めいめいのご飯の上にのせてくれた。よく煮えた納豆は秋風につけて、細く長く伸びていく……。

正月に入る前に家庭で作る納豆以外、金を買つてなんか食べられなかつた当時の私の家庭。そんなうにやかなご馳走。ほんとうにうれしく、「また午後からも頑張るように」と言われな

つた。東には菩提寺山から五頭連峰、西には遠く弥彦、角田の山々がくつきりと見え、雲一つない秋日和のなか、自分たちの影も短くなつた頃、「中飯だろう」と言う父の声に稲束をハサ場いっばいに敷いて腰をおろしての中食。当時のおかずなんかは春とれたイワシの塩漬がたくあんぐらいのものだった、が「今日はお前たちがナンギしてくれたのでうま

がら口にしたときのそのうまさ、ご飯のうまさ、今も忘れ得ない味であつた。晴れた秋空、遠くの山がみがうす白く近い近くの山が色づき始め、赤とんぼが行き交う頃になると必ず思い出すのがあの時の納豆の味である。——そして今はなき父母に感謝の思いをつのらせるのもこの時である。このバトンを日宝町の小川ヒロ枝さんにつなぎます。

機関車清掃に「ご参加を

「新津市蒸気機関車保存協会」では一小家庭に保存してあるSLの秋の清掃を計画して、多くの市民のみなさんご参加を呼びかけています。

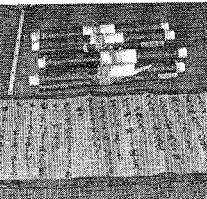
●とき：十一月八日の午後一時から
●集合場所：一小校庭
●清掃に協力してください
方は六日まで社会教育課(二一九六六七)へご連絡ください。

「農業体験交流のつどい」にお出かけを

農業とくらしを考える「農業体験交流のつどい」が開かれます。お出かけください。
●とき：十一月十四日の午前九時～午後四時三十分
●ところ：市民会館

守ろう文化財

十一月七日までは「文化財保護強調週間」です。文化遺産は私たちに先人の歩みを教えてくれる貴重なものです。



獅子おどり歌詞秘書

●市文化財 ●八珍榊原木古田 ●明学院大 ●夢野(草水町) ●幸清水(秋葉) ●妙蓮寺山門(東島) ●真柄家石油関係資料(柄日本) ●沢田家能代川堰関係資料(草水町) ●蓮徳寺一切経(西島) ●惣愛忠鑑(市之瀬) ●獅子おどり歌詞秘書(小戸下組)

消防設備点検資格者再講習会

昭和五十五年十月から十二月分の消防設備点検資格者再講習会が行われます。対象者は、第一種と第二種の消防設備点検資格者免状の所有者で、免状の交付を受けた日から五年未満の人です。受講しないと資格を失うことになります。該当者は忘れず受けましょう。問い合わせは市消防本部(二二〇一七五)へお問い合せください。

献血にご協力

「ゆつあひ号」来市
●十一月七日の午前九時三十分～正午：新津コンクリート工業 午後一時～三時：北越ヒューム管

お買物、ご用命は市内で

人類の夢 不老長寿

40才以上の貴方もう一度若返ってみませんか

御木本製薬株式会社
ミキモト化粧品新津営業所

本町三(商工会議所横) 電話 4-2157

みずみずしい秋の味覚

味自慢 大郷梨

地方発送承ります。

フレッシュでおいしい果物の店

やまいし

新津市本町3 TEL 3-0397

